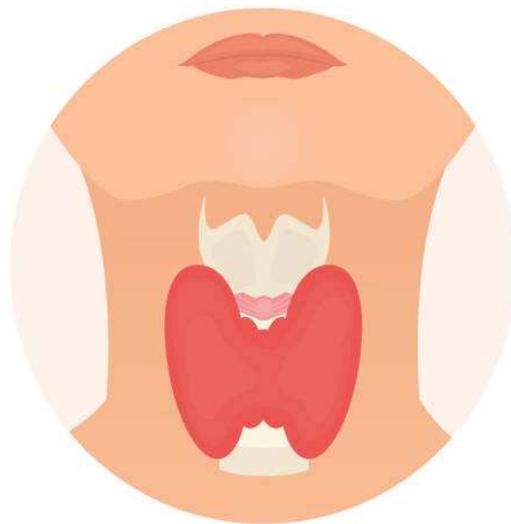


甲状腺とは

- 甲状腺は気管を取り巻くように存在し、のどぼとけの下にある蝶のような形をした臓器で、甲状腺ホルモンを分泌しています。
甲状腺ホルモンは、全身の細胞に働きかけ、新陳代謝を活発にする働きをしています。



甲状腺機能亢進症(バセドウ病など)

- 甲状腺ホルモンが過剰に産生される症候であり、本邦では大部分はバセドウ病ですが、機能性甲状腺結節、妊娠初期一過性甲状腺機能亢進症、無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎、まれではありますがTSH産生下垂体腫瘍などがあります。

症状: 動悸、息切れ、発汗、手指振戦、体重減少など

治療: 薬物療法、放射性ヨウ素内用療法、甲状腺摘除術

甲状腺機能低下症(橋本病など)

- 甲状腺ホルモンの分泌～作用不全による疾患で、甲状腺原発性と中枢(続発)性に分類できます。多くが原発性、なかでも慢性甲状腺炎(橋本病)が多く、医原性(放射線・手術・薬剤性)が続きます。

症状: むくみ、耐寒能低下、徐脈、便秘、傾眠、肌荒れ、CK上昇、コレステロール上昇など

治療: 甲状腺ホルモン補充療法

検査について

- 甲状腺機能検査

採血にて、甲状腺刺激ホルモン(TSH)と遊離型甲状腺ホルモン(FT4、FT3)を測定します。

- 甲状腺自己抗体検査

バセドウ病を疑うときには、抗TSHレセプター抗体(TRAb)を、橋本病を疑うときには、Tg抗体・TPO抗体を測定します。

- 画像検査

当院ではエコー検査を行っております。